

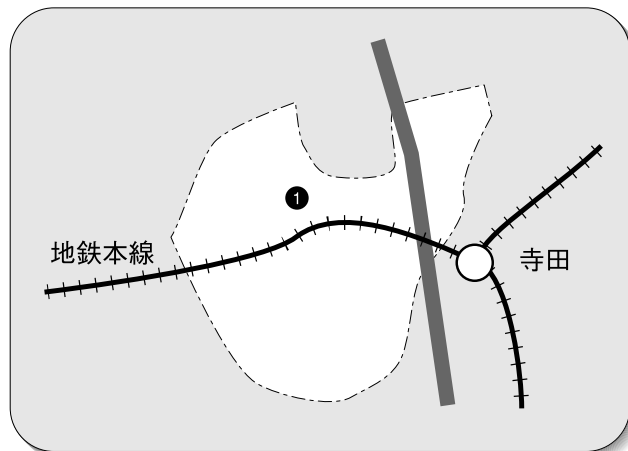
## 舟橋村の文化財

No.  
12

## 1 舟橋村の文化財の特徴

富山県のほぼ中央部にあって、県下最小の自治体舟橋村は、古来より近隣の地域と係わり合って連鎖と続いてきました。武内宿禰・古代社寺の荘園・中世の武将とその城館にまつわる伝説や民間伝承等存在するが、それを実証する記念物や文物は時代の流れの中で埋没・消滅して非常に少ない。

しかし、近年の研究や発掘調査によって僅かながらもその一端を覗かせており、舟橋村の今後が待たれる。



舟橋村文化財地図

## 2 文化財見て歩きガイド

## 「無量寺と阿弥陀如来立像 (S49.7.1 県指定)」

鎌倉時代の優れた木彫で、無量寺の本尊として崇拝されている。

また、明治2年この境内で、近隣の村を統合した糾合した農民たちは、塚越村の忠次郎をリーダーとして年貢に関する改革を政府に直訴しようと決起した場所である。世に言う「ばんどり騒動」発祥の地である。また、参道沿いの蓮花は、夏の風物詩である。

## 「竹内天神堂古墳 (埋蔵文化財包蔵地)」

古墳時代前期(4世紀の前期)築造、全長38mの前方後方墳。

被葬者は肥沃な白岩川水系の沖積平野を勢力基盤として台頭した首長で、周辺の前古墳に葬られている首長系譜の先駆けとなった人物であろうと推測されている。また、竹内天神堂古墳は、県下6基の前方後方墳のうち、神通川より以東唯一のもので、遺存状態が良いと言われている。



## 3 舟橋村の文化財一覧

番号	指定別	種別	名称	員数	所在地	所有者又は管理者	指定月日
1	県	彫刻	阿弥陀如来立像	1 軀	舟橋村 竹内323	無量寺	昭 49. 7. 1

## 4 問い合わせ先等

舟橋村教育委員会

TEL 076-464-1121